ミーティング資料

安達智哉 to-adachi@ist.osaka-u.ac.jp

2019年10月31日

1 シミュレーション環境の実装

以下の図1に示すシミュレーション環境を実装した。また、動作確認を行い、UEの挙動および MMEの負荷を問題なくシミュレートできていることを確認した。

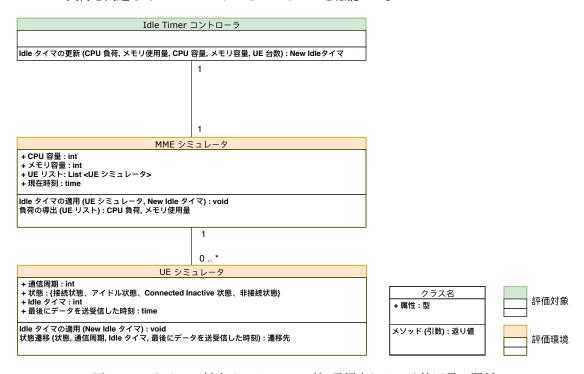


図 1: Idle タイマに対する、メッセージ処理頻度とメモリ使用量の関係

2 PID 制御の設定

PID 制御においては、比例ゲイン、積分ゲイン、微分ゲインと呼ばれる3つの定数を設定する必要がある。現在はこれらの定数を"ジーグラ・ニコルスの限界感度法"と呼ばれる手順に基づき設定しているところである。

3 今後の予定

- PID 制御に関する学習
- ジーグラ・ニコルスの限界感度法に基づくパラメータ設定および調整